

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第4区分

【発行日】平成17年10月6日(2005.10.6)

【公表番号】特表2000-513920(P2000-513920A)

【公表日】平成12年10月17日(2000.10.17)

【出願番号】特願平10-529337

【国際特許分類第7版】

H 0 2 M 3/28

H 0 2 M 1/00

H 0 2 M 7/537

【F I】

H 0 2 M 3/28 C

H 0 2 M 1/00 E

H 0 2 M 7/537 A

【手続補正書】

【提出日】平成17年3月14日(2005.3.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成17年 3月14日

特許庁長官 小川 洋 殿

1 事件の表示

平成10年 特許願 第529337号

2 補正をする者

名 称 コーニンクレッカ フィリップス エレクトロニクス
エヌ ヱィ

3 代 理 人

住 所 東京都千代田区霞が関3丁目2番4号

霞山ビルディング7階 電話(3581)2241 番(代表)

氏 名 (7205) 弁理士 杉 村 興 作



4 補正対象書類名 請求の範囲

5 補正対象項目名 請求の範囲

6 補正の内容 別紙の通り



1. 請求の範囲を下記の通りに補正する。

「 請 求 の 範 囲

1. 変圧器及び該変圧器の巻線に直列に結合されるスイッチングトランジスタを有しているタイプのスイッチトーマード電源用の過電圧保護回路において、該過電圧保護回路が、前記変圧器の検出巻線に直接接続される第1端子及び第2端子を有し、前記検出巻線間の電圧に比例する検出電流を発生する検出抵抗と、該検出抵抗の前記第2端子に入力端子が結合される電流ミラーと、該電流ミラーの出力端子に結合される過電圧基準電流源と、前記検出抵抗における前記検出電流に比例する前記電流ミラーからの反射電流を前記過電圧基準電流源によって発生される過電圧基準電流と比較する電流比較器と、前記反射電流が前記過電圧基準電流以上になると、前記スイッチングトランジスタをターン・オフさせる信号を発生する回路手段とを具備していることを特徴とする過電圧保護回路。

2. 前記検出抵抗が可変抵抗を具備していることを特徴とする請求の範囲1に記載の過電圧保護回路。

3. 前記電流ミラーが遅延回路を具備していることを特徴とする請求の範囲1に記載の過電圧保護回路。

4. 前記スイッチングトランジスタをターン・オフさせる信号を発生する前記回路手段がラッチ回路を具備していることを特徴とする請求の範囲1に記載の過電圧保護回路。

5. 前記過電圧基準電流源が発生する過電圧基準電流が、前記検出抵抗における公称電流よりも、前記スイッチトーマード電源の公称電圧を越えて前記スイッチングトランジスタをターン・オフさせる割合にほぼ等しい或る選択した割合だけ高くなるようにしたことを特徴とする請求の範囲1に記載の過電圧保護回路。」